

なかよく 令和6年度 1月号 かしこく 150th Anniversary 元気よく

令和7年2月3日 文責 黒木 幸博

150周年記念式典&学習発表会

今年の学習発表会は、150周年記念式典もありましたので、保護者だけでなく、たくさんの方に見ていただきました。ありがとうございました。

発表会は、成果を見せることも大切ですが、その過程にあるみんなで協力して作り上げたり、緊張やプレッシャーを乗り越えたりなどの経験がとても重要であり、子供たちを大きく成長させてくれます。

雨の影響で聞こえにくさはありませんでしたが、当日の子供たちの姿、とてもすばらしいものでした。それまでの本人と周りの仲間の努力に敬意、そして先生方の支援に感謝です。



学校HPの紹介

今年も、子供たちの日々の様子を紹介していきます。右のQRコードからご覧ください。



150周年式典 校長挨拶概要

以下の話をしています。

湯前小学校が創立された150年前、現在のように全員が入学し、通学できた時代ではありません。当時、就学率は32%、3人に1人しか小学校で学べない時代でした。それから時代は、明治、大正、昭和と流れ、全ての子供たちが学校に通うことが普通になるようになりました。この湯前小学校では、児童数が一番多かったとき、80年ほど前の昭和25年頃、1400人を超える子供たちが、小学校に登校し、勉強していたと記録に残されています。そして、この時期、想像するのが難しいかもしれませんが、小学校が火事になり、校舎と講堂（今でいうと体育館）が燃えてしまっています。当時の子供たちはもちろん、湯前町の方々は、火事の恐ろしさ、たいへんさを、身をもって感じたことでしょう。そして、火事から2年後、今の「校歌」がつけられています。私たちが今歌っている校歌は80年以上歌い継がれてきているのです。また、学校が目指す児童像「なかよく」「かしこく」「元気よく」は、私（校長）が小学生の頃にはありましたので、これも50年以上続いているものです。

明治時代につくられた学校は、大正、昭和、平成を経て、令和時代と続いています。児童数は152人です。人数は少なくなりましたが、この湯前小学校は、良き伝統を引き継ぎながら、地域の学校として、昔と変わらず、地域の皆様に愛される学校のままです。これからも、そうあってほしいと思います。そして、この湯前小学校を卒業した全ての人にとって「心の拠り所」となる存在であり続けてほしいと願っています。

学校運営協議会

今回、今年度の学校の取組の紹介と12月に実施した「学校評価（児童、保護者、職員）」の結果の報告を行いました。協議会で出された意見等を参考に、今後の取組、そして来年度の学校運営計画を作成していきます。

学校評価に協力していただいた保護者の皆様、そして学校運営協議会の皆様、ありがとうございました。



校長より

校長室前の【今月の言葉】

「悪いところは誰でも見つけられるけど、いいところを見つけるのは、そのための目を磨いておかないとできない。」

映画監督だった黒澤明さんのことばです。

「ほめて伸ばす」と言われますが、「ほめる」ことは「いいところを見つける“目”」を必要とする高度な技能です（誰にでもできることではありません）。私たち教員は、そして保護者の方々も、子供たちを「ほめる」ことができるよう（できている方はさらにできるよう）、目を磨き、心を豊かにしていくことが大切です。

子供たちも、友だち関係を深める、広げるためのポイントは目を磨き、心を豊かにすること！ 今年も成長していきましょう。